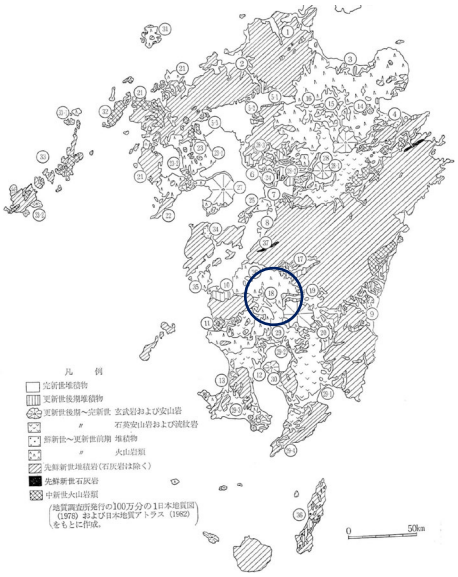
18.伊佐盆地

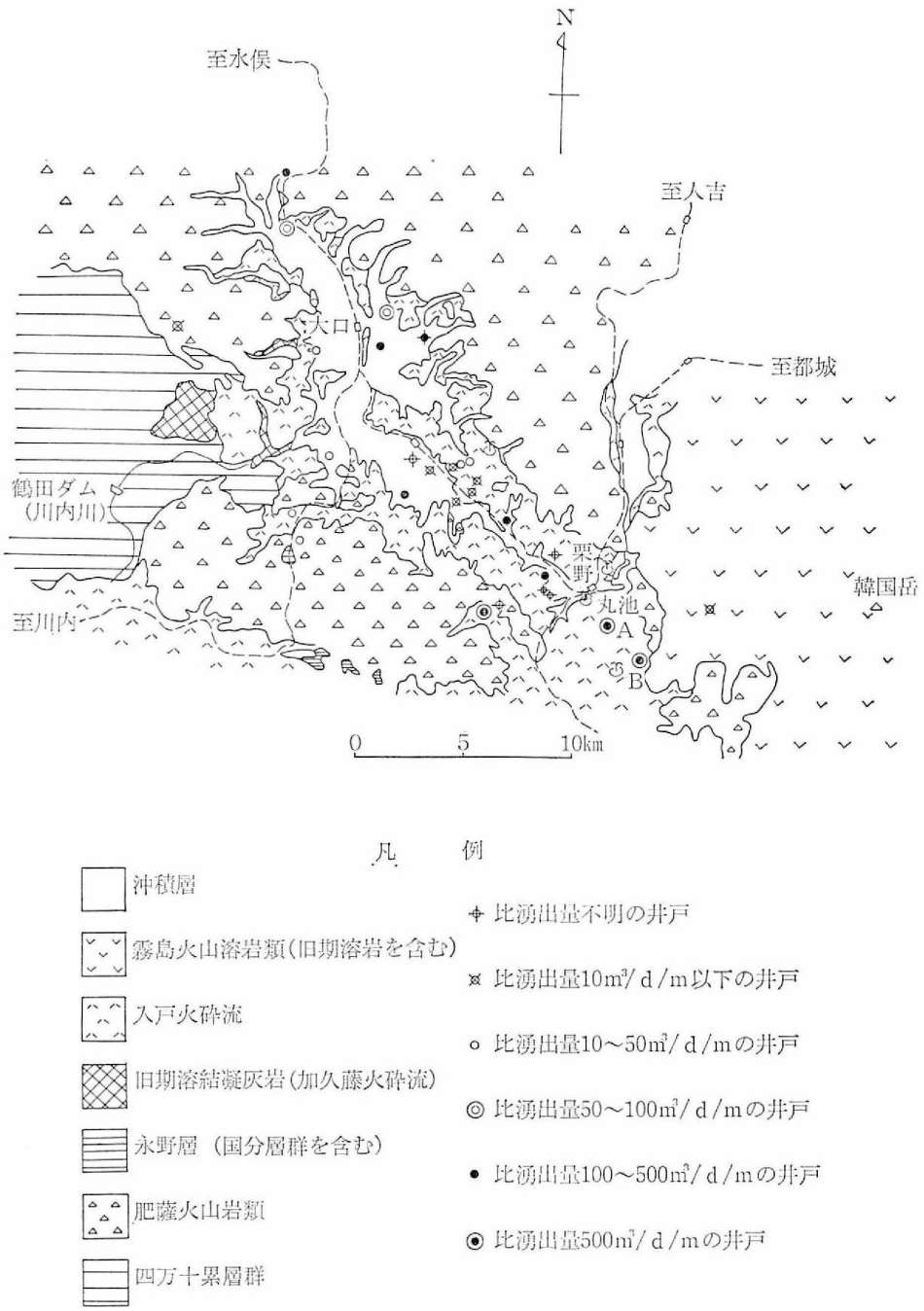


地形・地質

伊佐盆地は川内川の中流部に発達し，盆地の周辺部の山地は，ほぼ肥薩火山岩類からなります。盆地内部の山脚部にあたる標高 250～300m 以下の範囲は，入戸火砕流堆積物によって埋められ，部分的に段丘堆積物をのせています。大口市（現伊佐市）田代付近には，更新世後期に堆積した旧期溶結凝灰岩が分布します。

地下水

深井戸は入戸火砕流の溶結凝灰岩や肥薩火山岩類の裂か水を主に取水しています。佐牟田原台地下の佐賀利安山岩類も，優秀な帯水層です。



伊佐盆地の地質図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）